

# 2200日の物語 ～芝根の名のもとに～

第43話 (R04.03.04)

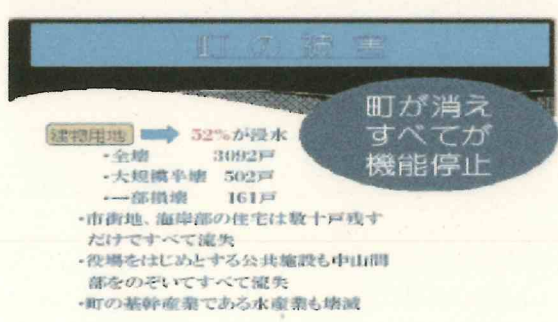
## ～ 避難訓練のお話 ～

みなさん、こんにちは。今日の避難訓練は、しっかりできましたか。

今から10年以上前に、東日本大震災という大きな地震が日本を襲いました。これは、岩手県に関するお話です。この中学校からは、いつもきれいな海が見えていました。



地震の後、大きな津波が来て、家や車がいっぱい流されました。小学校も崩れました。町の半分以上が水浸しでした。



町が消え すべてが 機能停止

建物用地	→	52%が浸水
・全壊		3082戸
・大規模半壊		502戸
・一部損壊		161戸

- ・市街地、海岸部の住宅は数十戸残すだけですべて流失
- ・役場をはじめとする公共施設も中山間部をのぞいてすべて流失
- ・町の基幹産業である水産業も壊滅

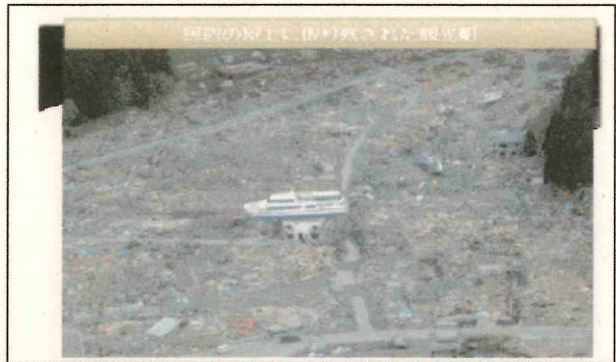
津波は、川をさかのぼりました。町は、1週間後も水浸しです。揺れがおさまったとき、電気をつけると通電火災が起きます。地震の後に、気を付けるポイントです。



町役場も崩れました。時計は、津波が襲った時間で止まっています。このはしごを登れた人が助かったそうです。



津波は、5階建てのアパートも襲いました。5階の真ん中くらいまで、津波が来ました。14.5mの高さです。船も民宿の屋根に乗っていました。



この町では、800人以上の方が命を落としました。親が亡くなった小中学生もいました。強い揺れなのに「きっと大丈夫だろう」と思ったり、物を取りに戻ったりしたことが被害を大きくしました。避難所の様子です。

**3. 11の理由**  
【被害を大きくした要因】

- 1 強い揺れが高く続いたにもかかわらず、すぐに避難しなかった
- 2 「まさか、ここまで来る」とは考えなかった  
⇒ 建物内に避難したが、高さ、強度が十分でなかった
- 3 あたりの様子に合わせた
- 4 一度避難したが、物を取りに戻った
- 5 防災無線が聞こえなかった(子音が機能停止)
- 6 指定避難場所がなかった

+

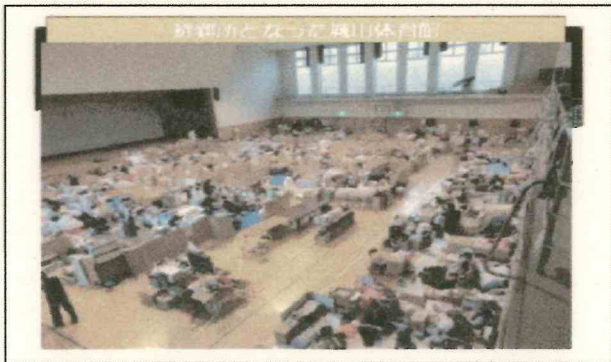
高齢化社会・車社会・情報化社会

**人的被害**

**死に者**  
・805人(848人:25年4月1日現在)  
(身元確認ができたご遺体743人)

**行方不明者**  
・475人(433人:25年4月1日現在)

**小・中・高生の犠牲者**  
・小学生:3名(2年生2名、5年生1名)  
・中学生:2名(1年2名)  
・高校生:6名(3年生5名、2年生1名)



**避難所での状況**

**安否確認ができない**

- ・小学校は全校普通授業日で学校ごとに避難  
保護者が引き取った子どもの安否が不明
- ・中学校2校のうち1校が午前授業
- ・避難先で一晩過ごし、保護者に引き渡し。  
そのまま避難所に残る児童生徒がほとんど。
- ・先生方が、ガレキを越え、山道を歩いて避難所を訪問し安否を確認